

農山漁村地域整備計画事前評価結果

計画の概要	計画の名称	奈良県森林基盤整備計画(森林整備事業)
	計画策定主体	奈良県
	対象市町村	奈良市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、山添村、平群町、三郷町、斑鳩町、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村 (以上34市町村)
	計画期間	平成22年度～平成26年度(5年間)
	計画の目標	森林基盤整備により適切な森林管理を促進し、森林の保水力の向上、濁水の緩和と平常水量の安定化など、水資源のかん養等の森林の多目的機能の発揮を図る。併せて山村地域社会の良好な生活基盤の整備を図るため、効率的な林業経営及び森林管理の基盤となる施設である林道等の路網を整備し、木材の生産コストの低減により林業の振興を推進する。
	評価指標	森林基盤整備により、路網整備が進み森林の整備が促進される。 搬出間伐の割合の増加 16%⇒25% 間伐材の利用量の増加 13,500m ³ /年⇒20,000m ³ /年m ³
	対象事業	森林整備事業、漁場保全の森づくり事業、農業用水保全の森づくり事業
	全体事業費	2,986,000 千円

項目	評価細目	評価	説明
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	「農業用水関連特定森林整備事業の基本方針」及び「漁場保全関連特定森林整備事業の基本方針」に定める事業目標と整合性がとれている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題である「森林整備の推進」と「漁場の濁水緩和」と「農業用水の安定供給」に対応した目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	整備計画の目標として適当な定量的指標の設定となっている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	「森林整備の推進」及び「搬出間伐の割合」など事後評価できる内容となっている。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切のものとなっているか	○	各事業の実施により発現する効果として適切な指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	対象地の条件・事業に必要な技術的条件・事業費等様々な側面から検討して実行可能な計画となっている。
	2 地元の意向が反映されているか	○	地元関係者からは同意または理解を得ている。
評価結果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">評価 I 事業を実施</div> 評価 II 計画の見直し		[評価基準] [評価 I]は全項目に○印がついている [評価 II]は1項目でも×印がついている